

## 第1学年 社会科学習指導案(地理的分野)

### 1 単元名 身近な地域を調べよう ～綾部神社を世界文化遺産リストに推薦すべき?～

#### 2 単元について

- 平成20年3月末、中央教育審議会より教育課程の改訂が公表された。現行教育課程の理念を踏まえ『生きる力』を育むために、「豊かな心」、「健やかな体」、そして「確かな学力」の重視が引き続き見られる。特に「確かな学力」に関しては、より具体的な方向性や手立てを明らかにしている。それは、基礎的・基本的な知識・技能の習得、そしてその活用、さらには探究である。また、これらの活動を結び付けるものとしての言語能力も重視されている。これらの点に関しては、中学校社会科においても同様である。地理的分野に関しては、さらに、次のような改訂点が挙げられる。それは「地域の課題を見だし、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を育てること」「身近な地域に対する理解と関心を、新しい側面をとらえさせる学習を通して深め、身近な地域の発展に努力しようとする態度を育てるようにすること」である。

旧中原町は、全国的な市町村合併の動きの中で、北茂安町・三根町と合併し、平成17年3月1日から新町「みやき町」としてスタートを切った。その結果、農業を基幹産業とした、人口28500人・面積52km<sup>2</sup>の町となった。合併後は三町が南北に連なったため、北は福岡県那珂川町を經由して福岡市、南は筑後川をはさんで福岡県久留米市、東を鳥栖市と接することとなった。

中原中学校が位置するみやき町中原校区は、自然が豊かで歴史と伝統のある地域である。日本最古の气象台といわれる綾部神社をはじめ、至る所に古墳が点在している。交通の便もよく、国道34号線や鳥栖～川久保線、さらには長崎自動車道やJR長崎線と、校区を東西に横切るように走っている。また、校区内に県立高校や養護学校もあり、教育環境の面でも充実していると思われる。その一方で、農業以外に主だった産業はなく、人口減・生徒数減はここ数年顕著である。町としても、水辺公園の整備やひまわり園・草スキー場のオープンなど、人を集めるための対策を打ってはいる。しかし、認知度は低く、抜本的な対策とはなっていないのが現状である。

- 本学級の生徒は全般的に落ち着いており、静かな中にも集中して取り組もうとする雰囲気がある。1学期には、歴史的分野の学習で「縄文と弥生、どちらで暮らしたい？」の学習問題を設定し、一単位時間での議論を経験した。また、毎週1枚提出の新聞記事の切り抜き活動も行っており、社会的事象に対する関心の高まりや自分の意見を書くことによる思考・判断力の向上も少しずつ感じられてきている。さらに、夏休みの課題として、校区の地理的事象に関するレポート作成も行った。そのため、資料を収集・選択する活動や、自分の思考を高める経験を少しずつ積んできているといえる。しかし、校区に見られる地理的事象は認識できていても、その意味や今後の変化を予測する力は不足しているといわざるを得ない。また、他地域に見られる事象と比較・関連付ける学習訓練も不十分であり、学んだことを他の学習の場面に生かす力も付けさせていく必要があると思われる。

事前アンケートの結果では、「中原は好きですか？」の質問に対し、29人の生徒が「好き」4人の生徒が「いいえ」と答えている。「好き」の理由としては、「自然が豊か」、「歴史を感じる」、「みんな優しい」などが挙げられた。その反面「いいえ」の理由としては、「田舎すぎる」、「何もない」、「道が悪い」などが挙げられている。また、「これから先、どんな町であってほしいですか？」の質問に対しては、「環境に優しい町」、「自然が多い町」、「伝統を大切にしていける町」という答えが多く見られる中、「建物がたくさんある町」や「都会・発展した町」という相反するような答えも見られた。

○ そこで、本単元の指導に当たっては、生徒の興味・関心を喚起するような架空の学習問題を提示し、それを基に学習活動を行わせるシミュレーションの形式を取りたい。学習の形態としては、一斉授業及び夏休みの課題「中原レポート 2009夏」を通して、地図の見方や考え方を十分に身に付けさせる。その際、読図や分布図作成などの地図の活用、地図表示ソフトなどの情報メディアの活用、校舎屋上で実際の風景と地形図と見比べさせるなど、地理的な作業や活動を随時取り入れていきたい。また、小学校3年生時に生徒が取り組んできた「まち探検」の学習成果も活かしていきたい。次に、学習問題「綾部神社を世界文化遺産リストに推薦すべき?!」をテーマに議論活動を取り入れ、多面的・多角的に考察させる。その活動を通して、これから先の中原校区のあり方や目指す地域社会をしっかりと考えさせたい。1年生という発達の段階を踏まえ、データから導かれる主張及び、それらを結び付ける根拠を意識させながらできる限り論理的に組み立てさせたい。最後に、議論の中で級友の考えに触れることにより、自分の考え・価値観を吟味し、よりよい価値判断をさせたいと考える。そして、それらの学習活動を通して21世紀を生きる公民としての資質の基礎や社会に参画していくために必要となる力の育成につなげていきたいと考える。

### 3 単元の総括目標

中原校区の特色や変化をとらえさせるために、調査活動に意欲的に取り組ませる。その際、地形図や新聞記事などの様々な資料を適切に読み取らせるとともに、地域の環境条件や他地域と関連付けて多面的・多角的に考察させ、地域の発展について考えさせる。そして、考察し理解した結果を地図化したり、報告書にまとめさせる。

### 4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての 知識・理解
中原校区の特色や変化をとらえるために、様々な資料の読み取りや資料作成、調査活動に意欲的に取り組もうとする。	学習問題について、地域の環境条件や他地域と関連付けて多面的・多角的に考察し、地域の発展について考えることができる。	地図や統計資料などを読み取り、考察した過程や結果を地図化したり、報告書にまとめたり、発表したりすることができる。	中原校区の地域的特色をとらえる視点や方法、地理的なまとめ方などを理解している。

### 5 単元の指導計画(全6時間)

	学習活動	教師の指導・支援	評価【評価方法】	時配
1	方位・縮尺・等高線・地図記号など、地形図を読み取る基礎的な技能を身に付ける。	○ 中原校区の25000分の1の地形図を活用させ、興味・関心をもたせる。	読図の技能を身に付けることができる。 【ワークシート】	1
2	地形図と、実際の校区の姿を比較する。	○ 校舎の屋上から、また、地図表示ソフトを使って校区を大観させる。	校区の姿を、興味・関心をもってとらえることができる。 【ワークシート】	1
3	みやき町(中原校区)の現状を知り、活性化するための方法を考える。	○ 新聞記事を活用する。動機付けとして、町長からアイデア募集の依頼を受けたと仮定する。	校区の現状を知り、その解決策を考えることができる。	1

			【ワークシート】	
4	「綾部神社を世界文化遺産リストに推薦すべき?」について、1回目の意志決定をする。 【意思決定1】	○ 県内の遺産候補を例に挙げながら、校区の価値あるものに目を向けさせる。	自分の考えを、文章で表現できる。 【ワークシート】	1
5	学習問題のメリット・デメリットの両面を考える。	○ 多面・多角的を意識させる。黒板を活用し、全体での共通認識を図る。	他者の主張を考えることができる。 【ワークシート】	1
6	学習問題について議論を行い、2回目の意思決定をする。その後、校区の未来像を考える。 【意思決定2】	○ 友達との意見交換を通し、自分の考えを吟味させる。町長あての手紙形式で作文をさせる。	学習問題に対し、より社会的な判断を行うことができる。 【ワークシート】	1 本時

## 6 本時の目標

議論および意見交換を通して、学習問題に対し、より社会的な判断を行うことができる。

【社会的な思考・判断】

## 7 本時の展開(6/6)

学習活動	教師の指導・支援(○)と【評価】																
1 前時(第5時)までの学習内容を振り返る。 2 本時の学習内容を確認する。	○ スライドショーで綾部神社の姿をクイズ的に提示し、生徒の関心を高める。 ○ 中原レポート2009夏(綾部神社分)も提示する。 ○ 議論および意見交換を通し、綾部神社の世界文化遺産リスト入りについて最終的な判断を行うことを説明する。 ○ 自分の考えに固執せず、友達のことを大切にする視点をもっておくことを確認する。																
3 議論をする。																	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p><b>綾部神社を世界文化遺産リストに推薦すべき?</b></p> </div>																	
(1) 学習問題に対する、1回目の意志決定を確認する。 (2) それぞれの立場(地域像)を支持する理由を発表する。 (3) 質問及び意見を発表する。	<p>○ 挙手をさせ、議論への意欲を高めさせる。 1回目の判断：すべき29人 vs すべきでない4人</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>すべき側の理由</th> <th>すべきでない側の理由</th> </tr> <tr> <td>① 観光客が増加する</td> <td>① 文化財が傷付けられる</td> </tr> <tr> <td>② 町の活性化につながる</td> <td>② 環境破壊につながる</td> </tr> <tr> <td>③ 文化財の保護になる</td> <td>③ 生活に制限が掛かる</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓ ↓</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>推薦すべき側への質問</th> <th>すべきでない側への質問</th> </tr> <tr> <td>① ゴミ・CO2も増えるのでは</td> <td>① 管理が厳しくなるのでは</td> </tr> <tr> <td>② 生活に支障が出るのでは</td> <td>② 環境保護意識が高まるのでは</td> </tr> <tr> <td>③ 傷付けられる危険があるのでは</td> <td>③ 店・施設増で便利な生活になるのでは</td> </tr> </table>	すべき側の理由	すべきでない側の理由	① 観光客が増加する	① 文化財が傷付けられる	② 町の活性化につながる	② 環境破壊につながる	③ 文化財の保護になる	③ 生活に制限が掛かる	推薦すべき側への質問	すべきでない側への質問	① ゴミ・CO2も増えるのでは	① 管理が厳しくなるのでは	② 生活に支障が出るのでは	② 環境保護意識が高まるのでは	③ 傷付けられる危険があるのでは	③ 店・施設増で便利な生活になるのでは
すべき側の理由	すべきでない側の理由																
① 観光客が増加する	① 文化財が傷付けられる																
② 町の活性化につながる	② 環境破壊につながる																
③ 文化財の保護になる	③ 生活に制限が掛かる																
推薦すべき側への質問	すべきでない側への質問																
① ゴミ・CO2も増えるのでは	① 管理が厳しくなるのでは																
② 生活に支障が出るのでは	② 環境保護意識が高まるのでは																
③ 傷付けられる危険があるのでは	③ 店・施設増で便利な生活になるのでは																

<p>(4) 反論をする。</p> <p>4 意見交換をする。</p> <p>(1) 自分の考えを見直す。</p> <p>(2) 2人組で意見を交換する。</p> <p>(3) 4グループで意見を交換する。</p> <p>5 学習問題に対する、2回目の意志決定をする。</p>	<p>○ フロアーの生徒の考えに、揺さぶりを掛ける。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>推薦すべき側の反論</p> <p>① 税収入が増え、町が潤う</p> <p>② 定住者が増え、人口増になる</p> <p>③ 綾部神社を保護できる</p> </td> <td style="width: 50%;"> <p>すべきではない側の反論</p> <p>① 今の綾部神社を守るべき</p> <p>② 豊かな自然を残すべき</p> <p>③ 暮らしやすい町を優先すべき</p> </td> </tr> </table> <p>○ 推薦すべき側の理由は「開発・発展」に、推薦すべきでない側の理由は「自然保護・生活重視」につながる価値であることに気付かせる。</p> <p>○ 議論を基に記入させる。</p> <p>○ 意見交換の材料とさせるため、机間支援で全員記入していることを確認する。</p> <p>○ 友達の考えと比較させることで、自分が優先した立場とその理由を吟味させる。</p> <p>○ 友達の考えを聞くとともに、質問や意見を出し合わせ、さらに、自分の考えを吟味させる。</p> <p>○ 1回目の意志決定と比べさせ、自分の優先した立場とその理由の変化に気付かせる。</p> <p><b>【評価】</b></p>	<p>推薦すべき側の反論</p> <p>① 税収入が増え、町が潤う</p> <p>② 定住者が増え、人口増になる</p> <p>③ 綾部神社を保護できる</p>	<p>すべきではない側の反論</p> <p>① 今の綾部神社を守るべき</p> <p>② 豊かな自然を残すべき</p> <p>③ 暮らしやすい町を優先すべき</p>
<p>推薦すべき側の反論</p> <p>① 税収入が増え、町が潤う</p> <p>② 定住者が増え、人口増になる</p> <p>③ 綾部神社を保護できる</p>	<p>すべきではない側の反論</p> <p>① 今の綾部神社を守るべき</p> <p>② 豊かな自然を残すべき</p> <p>③ 暮らしやすい町を優先すべき</p>		
<p>7 「綾部神社を世界文化遺産リストに推薦すべき？」の学習を終えてこれからの地域社会に望むことについて書く。</p>	<p>○ 「世界文化遺産に推薦すべき？」という学習問題を離れて、中原校区の未来について書くことを確認する。</p> <p>○ みやき町の町長さんへ、手紙の形で書かせる。</p>		

## 8 本時の評価

<p>評価規準</p>	<p>学習問題の追究を通して、主体的に議論・意見交換にかかわり、より社会的な判断を行うことができる。</p> <p style="text-align: right;"><b>【社会的な思考・判断】</b></p>		
<p>評価の基準 →支援</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>両者の主張を多面的・多角的に考察し、客観的な根拠を基に、望ましい社会（地域）の在り方を記述することができた。</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p>客観的な根拠を基に、望ましい社会（地域）の在り方を記述することができた。 →相対する立場、また、そこからの主張も踏まえさせる。多面的・多角的な考察を意識させる。</p>	<p style="text-align: center;">C</p> <p>Bに達していないもの  (例) 客観的な根拠に基づかない記述になっている。 →その主張を支えるデータを意識させる。1つのデータだけでなく、複数のデータを関連させることに気付かせる。</p>
<p>評価方法</p>	<p>ワークシート</p>		